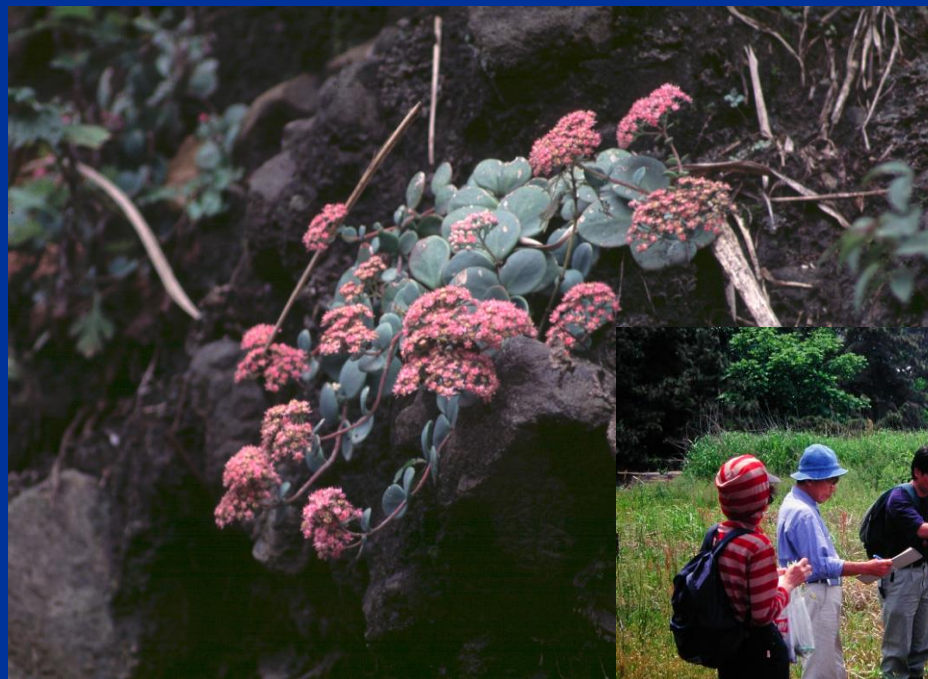


富山県中央植物園 ドリアス講座

野生植物の保全と

植物園の役割





日本の植物
ゾーン

24.5 ha

東西約400m

世界の植物
ゾーン

現在地

南北約800m

富山県中央植物園

平成5年10月開園 (平成8年4月全面開園)

中央植物園の事業

1. 植物の収集と展示

約5000種類



中央植物園の事業

2. 教育普及活動

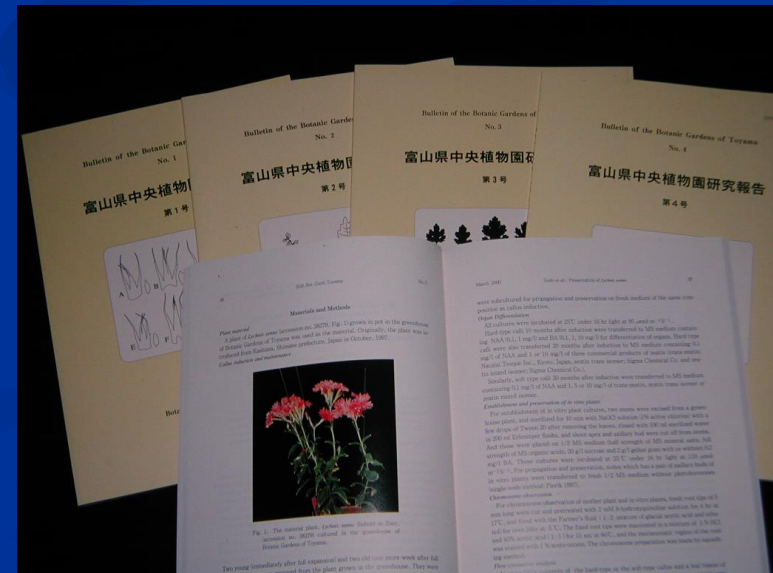
企画展、講習会、観察会



中央植物園の事業

3. 調査研究活動

富山県の植物の調査など



中央植物園は

1. 収集・展示

2. 教育・普及

3. 調査・研究 の仕事を行う

日本海側初の総合植物園

催しのご案内

東京国立植物園
香雪植物の
展示と植物
園
中央植物園

世界最古の紙

パピルス



熱帯雨林植物室

天然ゴム パラゴムノキ



熱帯雨林植物室

チューインガムの木 サボジラ



熱帯果樹室



チョコレート・ココアの原料 カカオ



熱帯果樹室

コーヒーの原料

アラビアコーヒーノキ



熱帯果樹室

実がスパイス コショウ



熱帯果樹室

カレーの色 ウコン



熱帯雨林植物室

トロピカル フルーツ



熱帯果樹室

香水(ジャスミン)の原料 マツリカ



熱帯雨林植物室

線香の原料 バックダン



熱帯雨林植物室

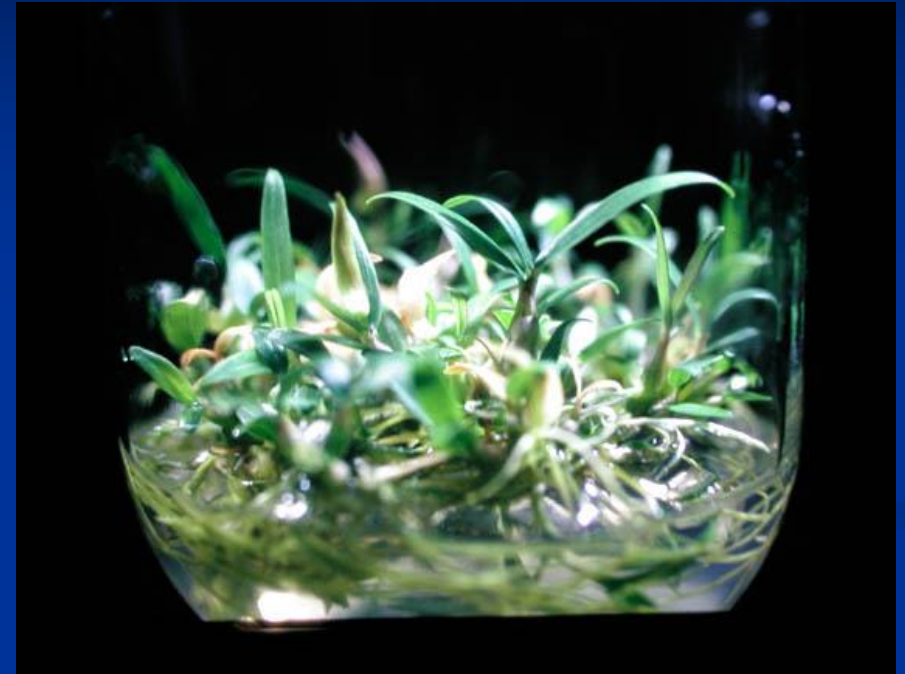
花の女王 カトシヤ

原種



ラン温室

絶滅が心配されるラン科植物



絶滅危惧植物の保全
= 植物園の役割

なぜ植物の絶滅が問題か？

1. 環境悪化の指標



水質悪化で十二町潟から絶滅



オニバス(上)とセンニンモ(右)

なぜ植物の絶滅が問題か？

2. 生物社会のバランスがくずれる



生物どうしのつながい



ウマノスズクサはジャコウアゲハの食草

なぜ植物の絶滅が問題か？

3. 有用遺伝子資源の消失



医薬品原料としての植物



中国雲南省の少数民族の薬草

食料資源としての植物



南米アンデス地方のジャガイモの原種

何が植物の絶滅をもたらすか？



開発



採集

何が植物の絶滅をもたらすか？



環境汚染



自然災害

何が植物の絶滅をもたらすか？

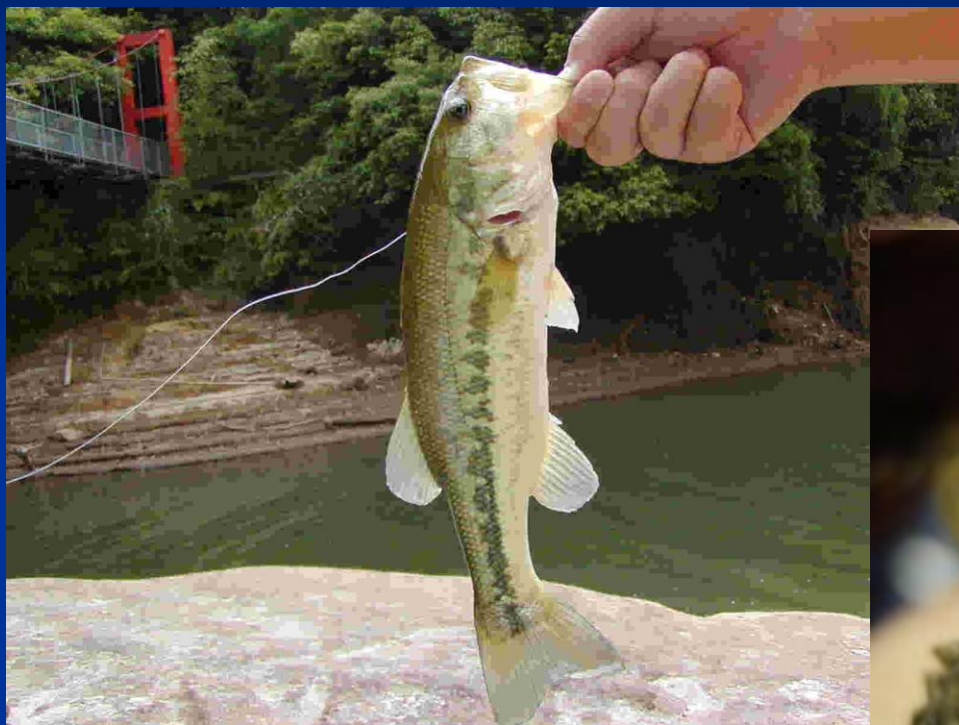


自然の変化

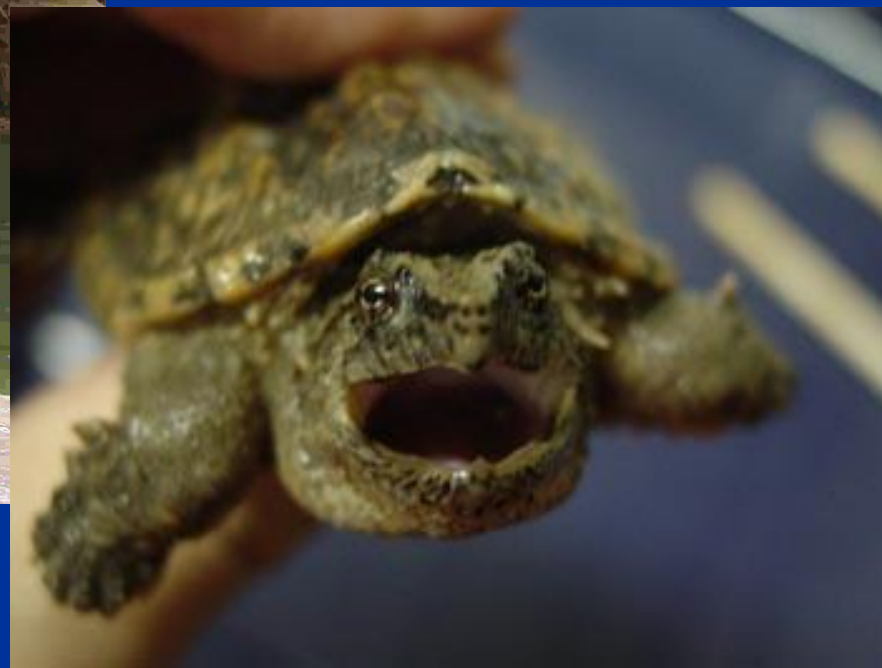


外来種

問題のある外来動物

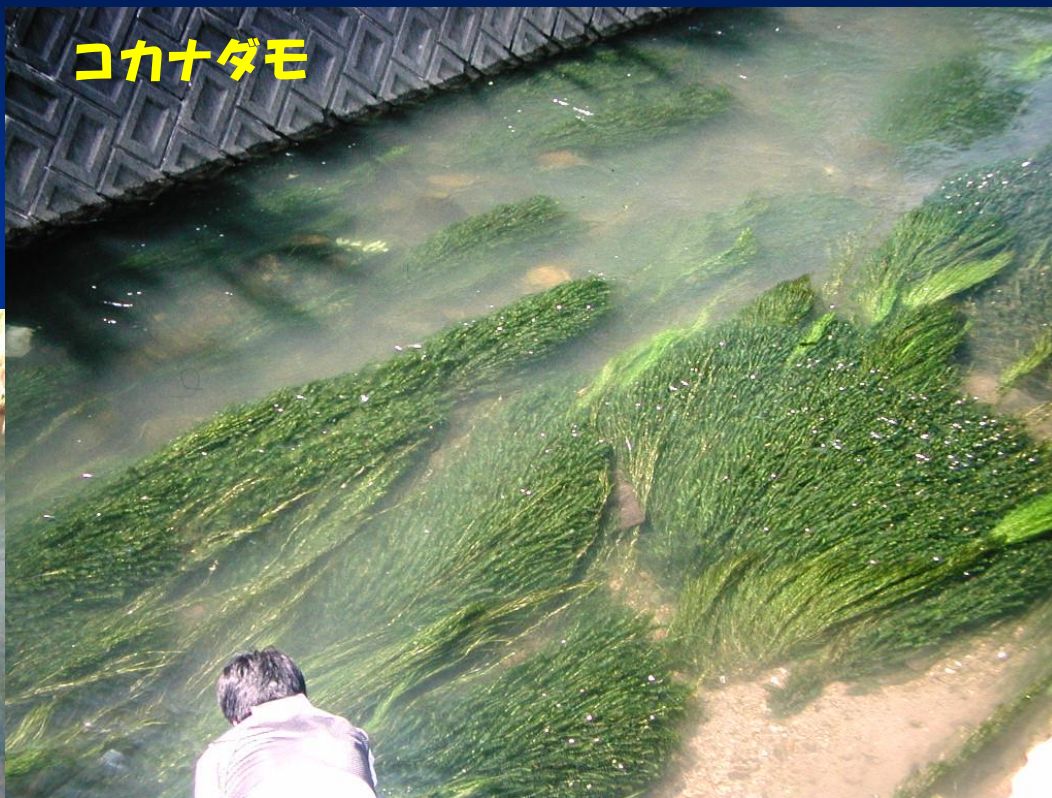


ブラックバス



カミツキガメ

外来水草 オオカナダモとコカナダモ



富山県の絶滅危惧植物

(維管束植物)

富山県

推定生息種類数 2,600

絶滅危惧種 376 (14.5%)

絶滅種 18

全国

推定生息種類数 7,000

絶滅危惧種 1,665 (23.8%)

絶滅種 20



中央植物園の保全活動

県固有植物「エッチュウミセバヤ」の保全

138

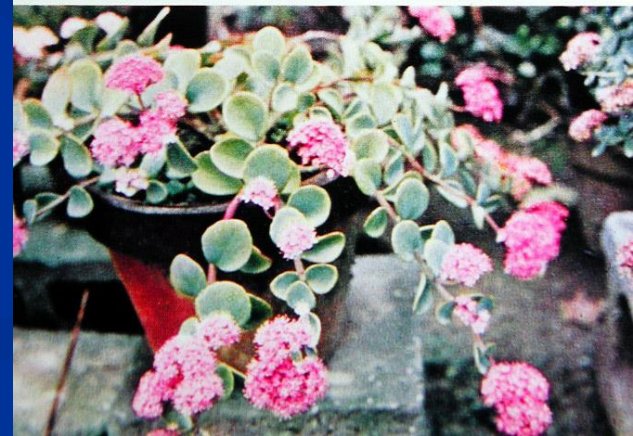
植物研究雑誌 第48巻 第5号 昭和48年5月

富田幹夫*： 富山に自生する新種エッチュウミセバヤ

Mikio TOMIDA*: A new *Sedum* from Pref. Toyama

(Plate III)

ミセバヤ (*Sedum sieboldi* Sweet) は観賞用として広く栽培されているが、現在確かな自生地として認められているのは、小豆島の寒霞溪のみである。かつて北海道、あるいは本州北部に産すると言われていたのは、それぞれ今日のヒダカミセバヤ *S. utricolum* Praeger, ツガルミセバヤ *S. tsugaruense* Hara と混同していたためと考えられる。北陸からはミセバヤの一種として、カガノベンケイソウ *S. kagamomnum* Maxim. が、飯沼慾齋の「草木図説」(1856)にある加賀産ベンケイソウの図



1997環境庁レッドリスト：野生絶滅

→植物園の調査で**自生地を確認**



自生地調査



エッチュウミセバヤの生育地

産地	標高	傾斜	方位	母岩	個体群
① 熊野川水系長瀬	220m	90°	西	集塊岩	50<?
② " "	220m	90°	南西	集塊岩	50<?
③ " 熊野川ダム	330m	90°	東	集塊岩	10~50?
④ " "	360m	90°	北	集塊岩	50<?
⑤ " "	400m	80°	北	集塊岩	50<?
⑥ " "	380m	80°	北西	集塊岩	10~50?
⑦ " "	350m	80°	南西	集塊岩	10~50?
⑧ 白岩川水系東谷	340m	80°	南	集塊岩	10>
⑨ 黒川水系石淵	210m	80°	北西	集塊岩	10>
⑩ " "	260m	90°	南西	集塊岩	10~20
⑪ " "	240m	80°	南西	集塊岩	50<

人が近づけない崖に自生



保全の対策は当面不要

自生地内保全の失敗例

トウカイコモウセンゴケ



富山県旧小杉町 = 日本海側で最初に発見

マニアの盗掘を恐れて自生地非公開

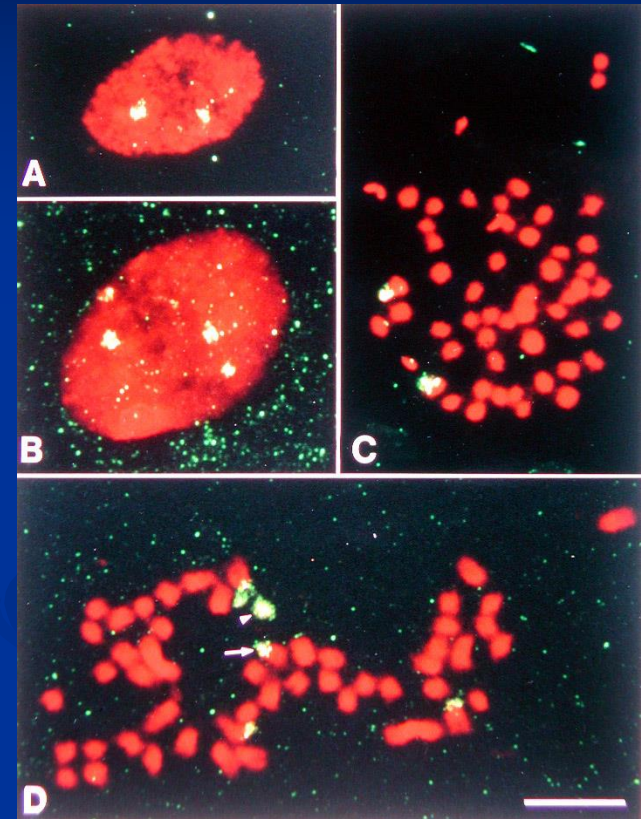
→ 道路の拡幅で自生地の消滅

ミセバヤとの違いの研究



ミセバヤ

江戸時代からの園芸植物
香川県小豆島に自生



染色体上のリボソーム遺伝子
サイトの数に違いがある。

栽培、増殖はきわめて容易



展示と保全に関する啓蒙



黒い鉢 富山県の固有種
エッチュウミセバヤ
(ヘンケイウツノ科)
Hytelalephium sieboldii (Siebert ex Mak.) Kuhn
Var. *ellipticum* (Toshiba) Kuhn

エッチュウミセバヤは 1967 年に富山の奥山で発見され、1973 年に新種として発表された植物です。その後、採集地で絶滅したと考えられていましたが、宇治の奥山で発見され、生存が再確認されました。生実が柔らかいことから、減危準種 1A にランクされています。

中央植物園ではエッチュウミセバヤと近縁の植物を展示しています。園芸採種を認めています。

[17] 富山総合 1998年(平成10年)10月2日(金曜日) 北 陸 中 日 報 県

絶滅危ぐの貴重な植物

エッチュウミセバヤ

エッチュウミセバヤは、富山県奥山で発見された固有種で、1973年に新種として発表された。その後、採集地で絶滅したと考えられていたが、宇治の奥山で発見され、生存が再確認されました。生実が柔らかいことから、減危準種 1A にランクされています。

中央植物園ではエッチュウミセバヤと近縁の植物を展示しています。園芸採種を認めています。

中央植物園情報

エッチュウミセバヤは、富山県奥山で発見された固有種で、1973年に新種として発表された。その後、採集地で絶滅したと考えられていたが、宇治の奥山で発見され、生存が再確認されました。生実が柔らかいことから、減危準種 1A にランクされています。

中央植物園ではエッチュウミセバヤと近縁の植物を展示しています。園芸採種を認めています。

園芸観賞には栽培個体を増殖し、野生採取を慎むように